

様々なシーンをオゾンのパワーで脱臭・除菌・分解

オゾンは空気中の浮遊菌からドアノブなどについた付着菌まで、あらゆる菌、ウイルスを除菌・分解します。
また、布製品に染み込んだ臭いも強力に脱臭。残留性がなく、除菌後は酸素に戻るのでも安心です。

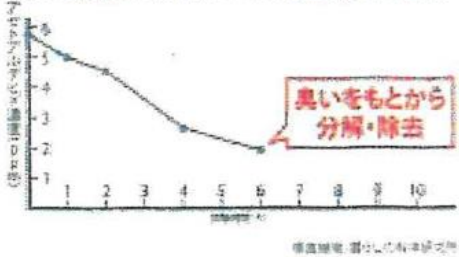
オゾン発生器はいろいろなところで使われています。



オゾンの実証データ*

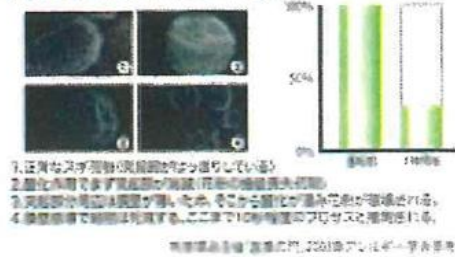
① 家庭の臭い対策

臭いの成分「アセトアルデヒド」をもとから分解・除去が可能。
【オゾン発生器によるアセトアルデヒド脱臭性能評価試験】



② 花粉対策

花粉に含まれるアレル物質を無害な物質へ変性。
【花粉が分解・変性されるまでの流れ】



③ ウイルス対策

空气中に浮遊するウイルスの除菌が可能。
【ウイルス感染性の不活化率試験】

試験別	不活化率			
	試験前	1時間後	2時間後	3時間後
オゾンガス暴露 (濃度0.1ppm)	0	92.9%	99.0%	99.7%
未暴露 (オゾン濃度がない状態)	0	-	-	54.0%

検査機関：一般社団法人 日本食品分析センター

④ 付着菌対策

ドアノブや家具に付着した菌の除菌が可能。
【大腸菌・黄色ブドウ球菌の除菌効果試験】

試験菌別	生育集落数(枚)			
	試験前	1時間後	2時間後	4時間後
大腸菌	325	280	12	0
黄色ブドウ球菌	260	1	0	0

検査機関：一般社団法人 日本食品分析センター

⑤ 脱臭対策

加齢臭の代表的な臭い物質「ノネナール」を脱臭。
【オゾンによるノネナールの脱臭性能評価試験】



⑥ カビ対策

お風呂など湿気の多い場所に増える「クロコウジカビ」の除菌が可能。
【クロコウジカビのオープン体菌効果試験】

試験菌	生育集落数(枚)				
	試験前	1時間後	2時間後	4時間後	6時間後
クロコウジカビ	144	110	86	0	0

検査機関：一般社団法人 日本食品分析センター

①臭いの成分「アセトアルデヒド」をもとから分解・除去可能な成分「アセトアルデヒド」の濃度を測定した。②「ウイルス対策」ウイルス濃度0.1%をシャーレに塗布し乾燥させる。チャンバー内にオゾン発生器を1時間設置し、シャーレを培養する。③付着菌対策大腸菌及び黄色ブドウ球菌の菌数を測定した。④ドアノブや家具に付着した菌の除菌効果試験。⑤「脱臭対策」加齢臭の代表的な臭い物質「ノネナール」の濃度を測定した。⑥カビ対策クロコウジカビ菌を培養させたシャーレを培養し、オゾンを照射した。⑦オゾン発生器の性能評価試験。⑧オゾン発生器の性能評価試験。⑨オゾン発生器の性能評価試験。⑩オゾン発生器の性能評価試験。



製品仕様		消費電力		
型式番号	T50-11NE オゾン発生器	消費電力	1.9kWh	
寸法	幅195×奥行134.5×高さ211mm	消費電力(換気モード)	1.9kWh	
質量	約1.1kg	消費電力(換気モード)	1.9kWh	
電源	AC100V/50Hz/60Hz	消費電力(換気モード)	1.9kWh	
定格消費電力	7.9W	消費電力(換気モード)	1.9kWh	
方式	空気放電式	消費電力(換気モード)	1.9kWh	
オゾン発生量	レベルL	20mg/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh
	レベルM	30mg/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh
	レベルH	40mg/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh
	レベルHH	50mg/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh
	レベルHHH	150mg/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh
風量	レベルL	15m³/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh
	レベルM	15m³/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh
	レベルHHH	15m³/h	消費電力(換気モード)	1.9kWh

安全にお使いいただくために

●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
※オゾン発生器は、適切な使用条件により、使用環境によって反応します。
※本製品は、日本国内向けに設計されているため、海外では使用できません。
※本製品は、改良のため予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※製品の安全、信頼のため、必要に応じて、見直しが必要です。

＜製造元＞株式会社タムラテコ